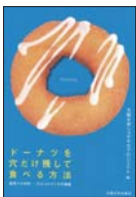


ここから広げよう!! READING LIST



各学部の先生からの オススメ本を紹介します!!

人文学部 稲垣 朋子先生



大阪大学ショセキカプロジェクト 編
『ドーナツを穴だけ残して食べる方法：
越境する学問一穴からのぞく大学講義』

大阪大学出版会
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 002/D85

「あたりまえ」を疑ってみる。これは、どのような学問分野を学ぶにあたって、必要とされる姿勢である。本書では、「ドーナツの穴」をキーワードに、文系・理系の研究者が、様々な観点から考察を深めている。至って真面目な議論なのだが、表紙と同様、ちょっとした遊び心も垣間見える。自分の専門に関する章から読み、そこから普段はなかなか触れる機会のない他分野にも挑戦してほしい。

教育学部 松本 昭彦先生



佐佐木隆 著
『言霊とは何か：
古代日本人の信仰を読み解く』

中央公論新社
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 121/Sa75

「人間の口から発せられたことばが、その独自の威力を発揮し、現実に対して何らかの影響を及ぼす」ことが、古代の人々の間では信じられており、それを「言霊」信仰と言う、と聞いたことはないだろうか。しかしそれは誤りである。ことばの威力に対する先のような説明は、近世の国粋主義者たちが理念的に作り上げた言霊観の影響を受けたものなのである。という論旨を、楽しく読める本である。

医学部 成田 正明先生



杉田玄白[ほか訳著]；酒井シツ現代語訳
『解体新書：全現代語訳』

講談社 講談社学術文庫
【所在】 図・開架・PB
【請求記号】 491.1/Su46

著者の酒井シツ先生(現順天堂大学教授)は、本学医学部の前身の三重県立大学医学部で卒業の大先輩である。本書は、かの杉田玄白によって翻訳されたターヘルアナトミアを平易な現代文に書き換えたものだ。読みやすい。図表も多い。今の目では決して気付かない細かい観察眼はまさに科学の原点である。文系の学生に特にお勧めである。なお医学部解剖学教室にはターヘルアナトミアの現物が所蔵されている。是非合わせてみてほしい。

工学部 富田 昌弘先生



A.テニスン [著]；原田宗典 訳
『イノック・アーデン』

岩波書店
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 931/Te37

小さな漁村に幼なじみのイノック、フィリップ、アニーが住んでいた。イノックはアニーに恋心を抱き、やがて2人は結婚した。幸せな時は過ぎ、イノックが航海に出たまま帰らない日々が続いた。アニーは悩んだ末、フィリップとの結婚を決意。ある日、イノックが無事帰った時、イノックは現実には驚愕した。しかし、アニーの幸せを考え、身を引くことを決意した。清らかな心と愛の尊さが描かれている。

生物資源学部 取出 伸夫先生



東京大学光合成教育研究会 編
『光合成の科学』

東京大学出版会
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 471.6/Ko26

地球規模でのエネルギーの流れと物質循環において中心的な役割を果たす光合成は、自然エネルギーを重視する昨今、様々な分野から注目されている。本書は、光の吸収から物質合成までの狭義の光合成に加え、光合成が地球環境で果たす役割、生物の多様性と光合成の意義、進化など広範の内容を最先端の研究も含めて解説しており、光合成と食糧・環境問題の関わりを深く学ぶことができる。

教養教育機構 松永 守先生



サイモン・シン [著]；青木薫 訳
『暗号解読上・下』

新潮社 新潮文庫
【所在】 図・開架・PB
【請求記号】 809.7/Si8/1
809.7/Si8/2

暗号をめぐる人類の歴史ドラマを著名なサイエンスライターが書き綴ったものである。前半では戦争・政争に使われた暗号や古代文字ヒエログリフの解読の物語等を紹介している。どの部分を拾っても楽しく読める。後半では、情報セキュリティを今後どのような方法で確保しようとしているのかを述べている。引き込まれて読んでいくうちに自然と暗号についての知識が身につくようになっている。